



クラウド

海外拠点のICT環境整備

進化するグローバルクラウド

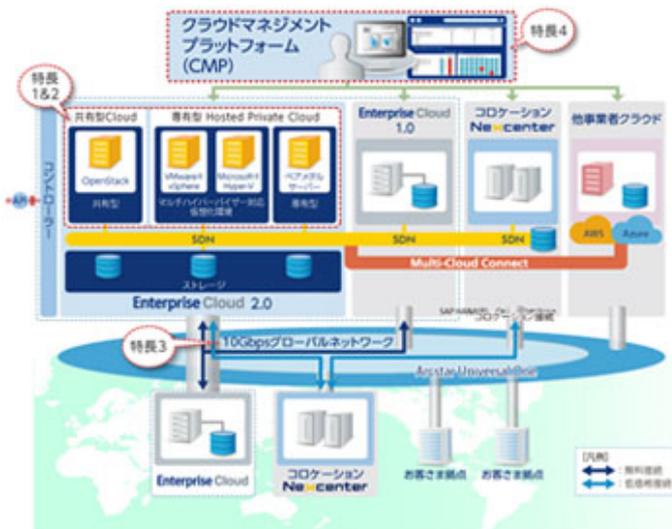
基幹系システムの運用にクラウドを活用

■ クラウドでも物理サーバーを利用できる

高いパフォーマンスが求められる用途では、サーバーが持つリソースを余すことなく利用できる物理サーバーを使いたいといったニーズが高まっています。最近では、これまで一般的だった仮想サーバーに加え、物理サーバーをそのまま提供するクラウドサービスも登場しており、クラウド活用の幅を広げています。

Enterprise Cloud

基幹系システムの運用にも対応できる、高品質・高信頼なクラウドサービスです。他のクラウドベンダーのクラウドも一元管理できるポータルや、物理サーバーを利用できるベアメタルサーバー(専有型クラウド)など、クラウド運用における課題を解決できる多種多様なオプションサービスを提供しているのが特長です。



専有型クラウドと共有型クラウドを提供するほか、コロケーションとも組み合わせができるため、オンプレミスシステムを1つのクラウド上に統合・運用することが可能(特長1)のほか、ビッグデータやIoTを活用したデジタルビジネスにも対応します(特長2)。またEnterprise Cloud間では最大10Gbpsのグローバルネットワークが無料で提供(特長3)されているほか、複数のクラウドを一元管理できるクラウド管理プラットフォーム(CMP)も用意されています(特長4)。

日産自動車株式会社

新技術を随所に取り込んだクラウドで日産の“顔”のイノベーションを目指す

[詳細はこちら >](#)

<https://www.ntt.com/business/case-studies/global/cloud/nissan.html>

ヤマハ発動機株式会社

グローバルで基幹系システムのクラウド移行を推進BCP強化、コスト削減の両立をEnterprise Cloudが支える

[詳細はこちら >](#)

<https://www.ntt.com/business/case-studies/global/cloud/yamahamotor.html>

クラウド業務で課題をお持ちのお客さま

フリーダイヤル/ナビダイヤル回線から便利な機能まで、お客さまニーズに合わせた最適なソリューションをご提案いたします。



0120-106107

受付 | 9:30 ~ 17:00
時間 | (土日祝日を除く)